

NOP NEWS

2012年初春号

17

ニュー・オペラ・プロダクション

〒168-0064 東京都杉並区永福 3-20-3 TEL: 03-3328-0817 FAX: 03-3328-0655
e-mail newopera@jcom.home.ne.jp URL http://members.jcom.home.ne.jp/newopera

明けまして、おめでとうございます。

昨年は東日本を襲った大震災により、長く歴史に刻まれるような大変な年となりました。皆様のお身内やご友人などに被害をお受けになった方は、いらっしやいませんでしたでしょうか。

未だに余震は続き、原発事故の影響は今もなお、終息の気配もなく、人々を不安に悩ませています。そんな状況の中、私が運営委員長を務めている全日本オペラ・ネットワークは、全国のオペラ団体やオペラに関心を抱く方々にネットを通じて呼びかけ、11月6日、東京文化会館の大会議室で「今こそ文化を！ 震災復興を進める東京オペラフォーラム」を開催しました。

こういう不安の時だからこそ、人々の心にたとえ、ひとときであるにせよ、安らぎを与え、明日への気力を活力を奮い立たせるために、文化が果たすべき、我々とすれば、オペラが果たすべき役割があるのではないかと、互いに知恵を出し合い、連帯を強めて困難を乗り越えて行こうという趣旨の会議でした。

昨年のNOP NEWSには、歳相応にペース・ダウンするように書き、確かに自主公演は致しませんでした。皮肉なことに、依頼公演がどっと押し寄せ、秋口から猛烈な忙しさになりました。内容は紙面をご覧くださいますが、今年も、力ある限り、何とかオペラ界のお役に立つよう懸命の努力を続けるつもりでおりますので、今まで通りのご声援をお願い申し上げます。

代表 杉 理一

オペラ「末摘花」和歌山と岐阜で再演 part 1

和歌山地元歌手の熱演によって大成功！

2011年9月4日、和歌山市民オペラ協会と和歌山市芸術創造発信フェスティバル実行委員会からの要請により、和歌山市民会館でオペラ「末摘花」を現地の歌手によって上演しました。

和歌山市民オペラ協会は、ヴェテランのメゾ・ソプラノ歌手で会長の多田佳世子さんと、その教え子達を中心としたグループで、全国の市民オペラ運動についても大変関心が高く、日立で行われる全国オペラ・フォーラムにも毎回、遠路はるばる熱心に参加され、多田さんは全日本オペラ・ネットワークの運営委員の一人としても活躍しておられます。今回の公演は、東京で行われた当プロダクションの「末摘花」初演も再演も、ご覧になって、「是非、和歌山で、地元の歌手で上演したいので、協力を」というお申し出があり、実現に至ったものです。

(次ページに続く)



楽屋で左端が多田佳世子会長、右端は杉



光源氏の来訪を告げる侍従(右:井谷有紀)と、夢かと喜ぶ末摘花(中谷恭子)

和歌山に演技指導に通って、私が驚いたのは、ここの地元歌手達の声楽的なレベルの高さもさることながら、多田さんの薫陶よろしきを得て、みんな統率が取れて礼儀正しく、オペラ上演への情熱、熱心さは今まで、他所で経験したことの無い程のものでした。例えば、練習が始まる前に、借りた公共施設のリハーサル室の床を、それ程汚れているとも見えないのに、借り衣裳を汚さないように歌手達が一所懸命雑巾がけする姿は、東京などでは決して見る事のないものでした。練習に使う小道具も、積極的に各人が家にあるものを持って来たり、工夫して作ったり、小道具会社から借りるより良くできている物もあり、本番でも使った位でした。

お陰で大変レベルの高い公演が出来て、客席から拍手や笑い声がしばしば湧き上がり、地元のお客様も、出演の歌手達も大変喜んで下さいました。多田さんから、「是非、再演したいので、その時はよろしく」と頼まれました。



「人間誇めが肝腎！」と大見得を切る叔母（久保美雪）



源氏の来訪がないと、ぼやく奥女中右近（右：木本伊津子）と左近（西村文子）



反目する執事（右端：野口桂己）と侍従、困る乳母で侍従の母（山田美佳）



成金の叔母といがみ合う乳母、悲しむ末摘花

オペラ「末摘花」和歌山と岐阜で再演 part2 廉価普及版を岐阜で再演！

2011年12月10日、岐阜市じゅうろくプラザで再演しました。この公演は2010年の第13回公演で少将役を演じた与田朝子さんがお知り合いの岐阜じゅうろくプラザ指定管理者団体との仲立ちとなり、実現したものです。

大変厳しい予算で、一昨年、当プロダクションの付属演技研究所が、杉並区の浜田山会館という小さな会場でやった「廉価普及版」で、とのお申し出でした。収容人員200名ホールの研究生発表会規模の予算で、600人収容のホールのお客様を満足させるのは容易なことではありません。しかも、与田さんが出演となると、末摘花も娘役も敵役も、それ相応の歌手を揃えねばならず、極力練習回数を減らすため、過去に出演した出演者を拝み倒してお願いしました。どだい無理な注文なのに、このオペラを何とかして普及させたいという、「コケの一念」で引き受けてしまいましたが、実施に至るまでには実に沢山の苦勞と沢山の協力の協力によって、やっと上演に漕ぎ着けた次第でした。このオペラの作曲者の寺嶋陸也さんも指揮を引き受けて下さり、大道具セットは和歌山公演で使ったのを安く譲って貰い、高価な桂（うちき）3着を装賀きもの学院のご好意で無料で提供していただきました。

しかし、これも結果オーライで、岐阜でも「素敵なお日本のオペラ」と沢山の方から賛辞を頂戴しました。



光源氏の出迎えに胸を躍らせる末摘花（山口道子）と乳母の娘（鶴飼文子）



源氏の再訪を信じる乳母（左・与田朝子）と疑わしげな執事（小畑未実）



屋敷も家財も売り払えと迫る叔母（三橋千鶴）



光源氏帰京の報を喜ぶ末摘花と乳母、執事

オペラ「椿姫」五都市巡回公演の字幕監修

2011年1月21日 <石川県：金沢歌劇座> 3月5日 <福井県：福井県立音楽堂>
23日 <富山県：新川文化ホール> 10日、11日 <兵庫県：兵庫県立芸術文化センター>
28日 <新潟県：新潟県民会館>

これは文化庁の後援で各県の芸術文化振興事業団や財団が連携して主催、制作に当たり、制作協力したミュージック・ア
ンド・アーツ・プランニングからの依頼で字幕監修をしました。出演は森 麻季（ヴィオレッタ）、佐野成宏（アルフレード）、
青山 貴（ジェルモン）他、指揮は現田茂夫、演出は十川稔の皆さんでした。

大震災のため、2011年4月に開講予定の講座中止

NHK文化センターからの依頼で、主宰の杉が「舞台の裏から探るオペラの魅力」を10回に亘る講座で、映像をまじえてお喋りする予定でしたが、3月11日の大震災と、それに続く余震で、安全性を考慮して、文化センターから講座を中止するとの連絡を受けました。ご期待下さった方には大変申し訳ございませんでした。

テレビ初期の珍しい映像や、今や語れる人の少なくなったNHKイタリア歌劇公演の舞台裏の珍談奇談、関わった各地の市民オペラの奮闘ぶりなどを、盛り沢山に、お伝えしようと意気込んでいましたので、私も大変残念でなりません。NHK文化センターが駄目なら、別の形で別の場所を見つけ、特別講座を開きたいと、目下、今年4月頃をメドに、適当な会場を探し、企画を練っている最中です。

お知らせ 2012

東邦音楽大学オペラ定期公演「魔笛」全6回公演の演出・制作協力・字幕監修

2月 4日（土）<川越グランツァール> 15：00開演 11日（土）<めぐろパーシモン> 13：30開演
5日（日）<川越グランツァール> 13：30開演 12日（日）<めぐろパーシモン> 13：30開演
10日（金）<めぐろパーシモン> 18：30開演

同大学の客員教授で、この公演の総監督、畑中良輔先生からのお声掛けで、お引き受けしました。グランツァールという東邦音楽大学内の反響板で囲まれたコンサート専門のホールと、めぐろパーシモンという、オペラも屢々上演されているホールとでは舞台の広さも機構もまるで違います。それを短期間に同じキャストで上演するので、セットや仕掛を余り変える訳にも行かず、共通するセットを作るのも容易なことではありませんし、寸法に合わせての演技付けも大変です。このオペラは場面数や出演者も多く、短時間でのセット転換もスリル満点になりそうです。

しかも、川越は、わが家から車を飛ばして往復3時間、稽古は3時間から、多い時は6時間、仕事がこのオペラだけならまだしも、北陸三県公演の「テレフォン」「泥棒とオールドミス」の立ち稽古とぶつかっており、昨年12月10日までは、それに「末摘花」の立ち稽古まで加わっていたので、目の回る忙しさでした。

ダブル・キャストで、A組は同大学で教鞭をとる舞台経験もあるベテラン歌手が主軸で、B組はより若い経験の浅い歌手が多く、しかも合唱は大学生、高校生達で、オペラは初めての人が多く、本番に向け過酷な練習の日々が続きます。公演の特別割引については、別途、お知らせしますので、ご希望の方は是非、ご覧になりまして下さい。

石川県金沢、富山県射水、福井県坂井三都市提携公演「テレフォン」「泥棒とオールドミス」

2月 17日（金）19時00分開演 <石川県立音楽堂邦楽ホール>
19日（日）15時00分開演 <富山県射水市新湊中央会館>
21日（火）19時00分開演 <福井県坂井市ハートピア春江>

この二本立てのメノッティのオペラは当プロダクションが1996年に森公美子さん、森麻季さん、高橋薫子さん達を主役
に迎えて上演、評判になったものですが、石川県音楽文化振興事業団の方が、福井で活躍して人気が高く、テレビを通じて全国的に人気の高い中島啓江さんを主役に各都市在住もしくは、出身の歌手の共演で是非、上演したいとの申し出に
応えたものです。目下、立ち稽古の最中ですが、中島さんは東京在住で大変お忙しい方なので、練習は専ら東京ですが、他の出演者は北陸出身だが、東京近辺でご活躍のひと、今も北陸でご活躍なので、わざわざ東京の稽古に駆けつけられる方もいて、スケジュールのやりくりも大変です。詳しい内容をお知りになりたい方は、当プロダクションにお問い合わせ下さい。

久しぶりにNOP友の会懇親ティーパーティ・コンサートを開きました

2011年5月10日(火) 午後2時30分からくものホールで。出演はソプラノの廣田美穂さん、テノールの渡邊公威君、ピアノ伴奏は石野真穂さん、それに杉オペラ演技研究所研究員有志の皆さんが合唱として参加、華やかな楽しいひとときを過ごしました。

廣田さんは杉オペラ演技研究所の研究員で、2007年の日本音楽コンクールで第1位、同年の日伊コンクールでも第1位になり、藤原歌劇団の新星として活躍中、渡邊君は海外のコンクールに上位入賞し、二期会の新進として注目されている歌手で、お二人が得意とするアリアや二重唱などを披露、合唱も加わり、パーティも出演者を交え、和やかな雰囲気の中、楽しい会話がはずみました。



「愛の妙薬」二重唱に満場の拍手を受ける廣田美穂さんと渡邊公威さん。



出演者とお喋りを楽しむ、なごやかなパーティのひとつ



会場のお客様と一緒に震災被害の方達へ、お慰めの心を込め「遙かな友に」を合唱。

NOP(ノップ)友の会へご入会、ご継続のお願い

ニュー・オペラ・プロダクションは、社会全体の厳しい経済状況の中で、多額の資金を要する自主オペラ公演は当面控え、またオペラ界第一線で活躍する歌手をご紹介するNOPコンサートも50回で打ち止めにしましたが、ご覧の通り、少ない予算でも高レベルの公演を制作する組織として、各地からの依頼公演が多く、新しい形のコンサートも企画中で、オペラを日本の新しい文化として根付かせるための活動は続け、懸命に頑張っていますので、このニュー・オペラ・プロダクションを応援しようと思われる方は、是非、友の会へお入り下さい、今まで応援下さった方は、どうぞ、引き続きお力添え下さるよう、お願い申し上げます。

友の会会費◆年会費：3,000円(毎年1月更新)

- 特典
- ①自主オペラ、コンサートにはご本人のみ500円程度の割引でご優待します。
 - ②自主オペラ公演にはご優待席を確保します。
 - ③NOPの活動を随時、お知らせします。
 - ④NOPの関連公演に、主催者のご協力が得られた場合には、ご優待致します。
 - ⑤会員の懇親パーティ・コンサートに実費程度の低料金でお招きします。

【お申込み・お問い合わせ】ニュー・オペラ・プロダクション

代表杉の四男、清高(ソムリエ)が支配人を務めているイタリア料理店です。

六本木へお出かけの際は、是非ご利用下さい。こじんまりとした落ち着いた雰囲気とおいしい料理が評判です。

イタリア トスカーナ地方の
郷土料理とワインのオステリア

OSTERIA
Gatto Nero
dal 2007

ガットネーロ



ランチ：11:30～14:00
(ラストエントリー)
土曜・祝日は14:30ラストエントリー
ディナー：18:00～22:00
(ラストエントリー)
定休日：日曜日・第3月曜日

東京都港区西麻布3-2-5
ノゾビル2F

Tel: 03-5770-2310

<http://www.gatto-nero.jp>